

教科(科目)	地理総合	単位数	3単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	東京書籍「地理総合」 帝国書院「新詳高等地図」				
副教材等	東京書籍「地理総合ワークノート」				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。</p> <p>②体験的な活動をとおして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。</p> <p>③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。</p> <p>②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。</p> <p>③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会で主体的に生きる資質・能力を育成することを目指す。</p> <p>① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会に実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>
--

3 学習計画

※知・知識・技術、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1	4	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界	1 緯度・経度 【24時間、地球は眠らない。】 2 地球儀と世界地図 【丸い地球を、平らな紙に正しく描けるだろうか。】	9	○		○	ワークノート (記述の点検) 世界標準時と世界各国との時差 (発表)
	5		3 日本の位置と領域 【小さな島が、大きな意味をもつのはなぜ?】	9	○	○		領土問題の背景 領土問題の解決

		定期考査			○	○	○	
6	第2章 地図や地理情報システムの役割	4 地形図のルール 【地形や土地利用の歴史がひと目でわかる。】 5 地理情報システムと地図 【地図の可能性は、まだまだ広がる。】	12				○	地形図の読み取り、活用  地理情報システム(GIS)の活用例を確認します。
		定期考査			○	○	○	
7		6 交通の発達 【地球は、どんどん小さくなっている?】 7 拡大する貿易 【国どうしの貿易は、どう変化しているのか?】 8 つながる世界、多極化する世界 【国どうしの結び付きで、世界はどこに向かう?】	9	○				ワークノート (記述の点検)  統計資料の活用(発表) ・貿易品目 ・相手国 ・産業構造  ワークノート (記述の点検)
2	9	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解	9	○				資料集の活用  意見交換・発表 ワークノート (記述の点検)
		定期考査			○	○	○	
10	2節 生活文化と自然環境① 地形	12 平野の暮らし 【流れる川が、地形を変えていく。】 13 海岸の暮らし 【さまざまな海岸と、そこでの暮らしとは】	12				○	意見交換・発表  ○ 意見交換・発表
11	3節 生活文化と自然環境② 気候	14 多様な気候とその分布 15 熱帯の人々の暮らし 【強い日差しと激しい雨。人の暮らしと農業は?】 16 乾燥帯の人々の暮らし 【雨が少ない! どうやって水を得る?】 17 温帯の人々の暮らし 【クーラー不要の地域からストーブ不要の地域まで。】 18 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし 【長い冬を過ごすための食料や、町の工夫とは】	12	○	○	○		地図・資料集の活用       ワークノート (記述の点検)
		定期考査			○	○	○	
12	4節 生活文化と産業	20 食生活と農業の分布 【人の食生活は、気候だけで決まるのだ	9	○	○			地図・資料集の活用

			ろうか。】 21 工場立地の変化 【工場は、どんな理由でどんな場所に建つのかも。】 22 商業立地と人々の生活 【売り方も、買い方も、社会とともに変化する。】		○	○		地図・資料集の活用  地図・資料集の活用
3	1	第2章 さまざまな地球的問題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題 3節 人口問題	23 地球環境問題(1) 【大気と海に、何が起きているのだろうか。】 24 地球環境問題(2) 【森林減少と砂漠化、その原因を探る。】	9	○	○		映像資料・資料集の活用  グループ討議・発表
	2		25 資源・エネルギーの偏在 【誰もが、欲しがらる。だから、取り合いに。】 26 化石燃料から再生可能エネルギーへ 【地球を、「電池切れ」にさせないために。】 27 発展途上国の人口問題 【人が増えたのはなぜ？何が問題なのだろうか。】 32 先進国の人口問題 【若者が減り、高齢者が増えるとどうなる？】	9	○	○		グループ討議・意見発表
	3	4節 食料問題  5節 居住・都市問題  6節 民族問題	32 食料需給をめぐる問題 【増産しても、まだ足りない。なぜだろうか。】 33 発展途上国の居住・都市問題 【人は、何を求めて都市に向かうのか。】 35 先進国の居住・都市問題 【なぜ、再開発が必要なのか。】 34 民族問題・難民問題 【くり返す対立で、国を追われる人々がいる。】	3	○	○		ワークノート (記述の点検)  ワークノート (記述の点検)  ワークノート (記述の点検)  ワークノート (記述の点検)

#### 4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。</p> <p>地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、多角的に考察したり、国際的・地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。</p>	<p>地理に関わる諸事象に対して、その知識や技能を獲得し、国際的、全地球的な観点から、今日的な課題に対して、自ら思考力や判断力、表現力などを身につけようとする取り組み、姿勢が見られている。</p> <p>多面的な考察から、世界の諸地域の多様な生活文化を理解、尊重しようとしている。</p>
評価方法	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の分析や</li> <li>レポートやワークノート、ノートなどの提出物の内容確認</li> </ul> <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査の分析</li> <li>授業中の発表や討議への取り組み姿勢</li> <li>提出物などの内容確認</li> </ul> <p>などから、評価します。</p>	<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発表や討議への取り組み姿勢</li> <li>レポートや意見文・感想文などの提出</li> </ul> <p>などから、評価します。</p>

#### ※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 30 時間	B「書くこと」 40 時間	C「読むこと」 35 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

#### 5 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに「ワークノート」の提出があります。
- ・ 各学期の期末考査後、ノートの提出があります。
- ・ 長期の休業中に課題プリントを配布・提出があります。

#### 6 担当者からの一言

地理は各国の地形や気候を知ることができるだけでなく、世界文化や情勢も知ることができる科目です。近年の世界情勢は著しく変化しています。地理の学習を通して、世界の文化や経済、情勢について興味関心を持ち、視野を広げて欲しいです。

教科(科目)	公共	単位数	2単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	清水書院「私たちの公共」				
副教材等	清水書院「私たちの公共 ワークノート」				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。</p> <p>②体験的な活動をとおして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。</p> <p>③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。</p> <p>②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。</p> <p>③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。</p>

### 2 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。</li> <li>・諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる。</li> <li>・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を入れながら構想したことを議論する力を養う。</li> <li>・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。</li> </ul>
--

### 3 学習計画

※知・知識・技術、思・思考・判断・表現、主・主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1	4	第1章 社会で生きるということ	1 私たちと青年期 2 私たちと社会 3 人間の社会と文化	4	○	○	○	ワークノート (記述の点検)
	5	第2章 みんなが幸せな社会とは?	1 よく生きるとは?世界の思想 2 幸福な社会とは?功利主義 3 幸福な社会とは?正義の原理 4 環境問題と人間の活動 5 地球環境問題	5	○ ○ ○	○ ○	○ ○	レポート提出 クラス発表
	6	定期考査	1 個人の尊重と社会		○	○	○	

2	7	第3章 公共的な空間における基本原理 定期考査 第1章 私たちの生活と法	2 民主主義, 立憲主義 3 法はなぜ必要なのか  1 個人と法 2 平等に生きる権利 3 自由に生きる権利 4 人間らしく生きる権利 5 新しい人権	5 6	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	ワークノート (記述の点検)
	8 9	第2章 私たちの生活と政治	1 日本の統治機構 2 国会のしくみとはたらき 3 内閣のしくみとはたらき 4 行政機関としての国の役割 5 裁判所のしくみとはたらき	6	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○		ワークノート (記述の点検)
		定期考査				○ ○ ○		
	10		6 紛争解決のしくみ 7 地方自治の役割と現状 8 選挙のしくみ 9 政党と政治参加 10 民主政治の原理と世論	6			○ ○ ○ ○	DVDの活用  模擬投票の実施
	11	第2章 平和主義と日本	1 日本の平和主義と憲法 2 日本の外交と平和な社会の構築	4	○ ○	○ ○	○	クラス発表
		定期考査				○ ○ ○		
	12	第4章 私たちの生活と経済	1 私たちの生活と経済活動 2 市場経済のしくみ 3 価格を決める要因	5	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	ワークノート (記述の点検)  職業選択について考える (レポート提出)

3	1	第4章 私たちの生活と経済	4 企業の経済的役割 5 国民所得と私たちの生活 6 政府の経済的な役割	7			○ ○	職業選択について (レポート提出)
	2 3	第5章 私たちの生活と国際社会	1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際機関 3 平和な国際社会をめざす 4 グローバル化する社会 5 持続可能な国際社会	5	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	ワークノート提出 (記述の点検)

計 105 時間 (50 分授業)

#### 4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	現代社会が抱える様々な諸課題を捉え、考察し、自己で判断・行動出来るようにするための基本的な概念や制度について理解する。また、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代社会の諸課題の解決に向けて深く学び、その選択や判断となる自己の考え方を多面的・多角的に考察する。公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けている。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身に付けている。また、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、主権者としての自覚などを深めようとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析や ・レポートやワークノート、ノートなどの提出物の内容確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・提出物などの内容確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・レポートや意見文・感想文などの提出 などから、評価します。

#### 5 課題・提出物等

- ・ 单元ごとに「ワークノート」の提出があります。
- ・ 各学期の期末考査後、ノートの提出があります。
- ・ 長期の休業中に課題プリントを配布・提出があります。

#### 6 担当者からの一言

この「公共」という科目は、現代社会学が直面する諸問題、私たちの課題を多方面にわたって、多角的に考察していきます。一人一人が自分自身の問題として捉えていく姿勢を見つけていただきたいと思います。是非、今起きている世界的な事件や身の回りのニュースに関心を持ってください。

令和6年度シラバス (公民)

学番25 新潟県立新発田農業高等学校

教科(科目)	政治・経済	単位数	2単位	学年(コース)	3学年 (選択)
使用教科書	実教出版「最新 政治・経済」				
副教材等	中部日本教育文化会「社会総合講座」				

1 学習目標

- ・広い視野に立って、民主主義の本質を理解する。
- ・現代の政治、経済、国際関係などを学習し、それらの諸課題を主体的に考察する。
- ・主体的に社会の形成に参画する態度が身に付くようにする。

2 学習計画

※知…知識・技術、思…思考・判断・表現、主…主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1	4	1章 現代国家と民主政治	1 民主政治と法 2 民主政治の基本原則 3 世界の政治制度 4 民主政治の課題	5	○	○	○	ワークノート (記述の点検)
	5	2章 日本国憲法と基本的人権	1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本原則 3 自由権 4 平等権	8	○	○	○	
		定期考査			○	○	○	
	6	2章 日本国憲法と基本的人権	5 社会権 6 参政権・請求権 7 新しい人権	7	○	○	○	ワークノート (記述の点検)
		定期考査			○	○	○	
	7	3章 日本の政治制度	1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保証 4 地方自治 5 政党政治と選挙制度	8	○	○	○	
					○	○	○	
8 9	4章 現代の経済社会	1 経済社会の変容 2 経済主体と市場の働き 3 企業の役割 4 国民所得	8	○	○	○	ワークノート (記述の点検)	

2		5 経済成長と国民の福祉 6 金融の役割		○ ○	○ ○	○		
	定期考査			○	○	○		
	10	4章 現代の経済社会	7 金融の役割 8 日本銀行の役割 9 財政の役割と租税 10 日本の財政の課題	8	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	DVDの活用 租税教室の実施	
	11	5章 現代の日本経済と福祉の向上	1 日本経済の成長と課題 2 中小企業と農業 3 消費者問題 4 公害防止と環境保全	5	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
	定期考査				○	○	○	
12	5章 現代の日本経済と福祉の向上	5 労働問題 6 労働者の権利 7 社会保障の役割と課題	7	○ ○ ○	○ ○ ○	○	ワークノート (記述の点検)	
3	1	6章 国際政治の動向と課題	1 国際社会と国際法 2 国際連合と国際協力 3 人権・民族問題 4 日本の国際的な役割	9	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○	クラス発表
	定期考査 7章 国際経済の動向と課題	1 戦後の国際経済体制 2 経済のグローバル化 3 地球環境問題 4 資源エネルギー問題	5	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	ワークノート提出 (記述の点検)  レポート提出	

計70時間 (50分授業)

### 3 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	現代社会と人間に関わる事柄に対する関心を高めて、意欲的に諸課題を探究し、人としてのあり方や生き方についての自覚を深める。	現代の社会的事象の本質について探究し、広い視野に立って多角的、多面的に考察し、判断する力を身につける。	よりよい社会の実現に向けて、自己との関わりを踏まえて学習し、自己の成長や自己実現につながるよう自主的、主体的に取り組む。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析や ・レポートやワークノート、ノートなどの提出物の内容確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・提出物などの内容確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・レポートや意見文・感想文などの提出などから、評価します。

### 4 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 単元ごとに「ワークノート」の提出があります。</li> <li>・ 各学期の期末考査後、ノートの提出があります。</li> <li>・ 長期の休業中に課題プリントを配布・提出があります。</li> </ul>
---

### 5 担当者からの一言

<p>この「政治・経済」という科目は、日々変化する国際情勢・国際関係に注目し、政治や経済、国際関係などを学んでいく科目です。これから社会に進まれる皆さんには必須な事柄が多いので、是非、主体的に取り組んでください。</p>
--

教科(科目)	歴史総合	単位数	2単位	学年(コース)	3学年
使用教科書	帝国書院「明解 歴史総合」				
副教材等	帝国書院「明解 歴史総合ノート」				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①心身ともに健康で調和のとれた人格の形成を目指すとともに、現代の農業に対応し、地域に貢献できる力を育成する。</p> <p>②体験的な活動をとおして、望ましい勤労観・職業観を育み、多様な課題に対応できる能力を育成する。</p> <p>③社会や地域の一員としての自覚を持ち、自らの成長のために挑戦しようとする心を育成する。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①知識や技能を習得させ、主体的に学習に取り組む態度を養う教育活動を展開します。</p> <p>②課題研究などの授業を通して、課題解決を図る探究的な学習活動に取り組みます。</p> <p>③地域や外部機関と連携し、地域や社会の方々との交流活動に取り組みます。</p>

### 2 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激に変化する現代社会に至る歴史的過程を理解する。</li> <li>・平和で民主的な社会を形成するために必要な資質や能力を育成する。</li> <li>・現代世界の諸課題が形成された歴史的背景を理解し、多面的・多角的に考察する。</li> <li>・主体的に社会の形成に参画する態度が身に付くようにする。</li> </ul>
--

### 3 学習計画

※知…知識・技術、思…思考・判断・表現、主…主体的に学習に取り組む態度

学期	月	授業計画	学習内容	時間	評価の観点※			備考
					知	思	主	
1	4	1章 江戸時代の日本と結びつく世界	1 アジアのなかの江戸幕府 2 成熟する江戸社会 3 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	5	○	○	○	ワークノート (記述の点検)
	5	2章 欧米諸国における近代化	1 イギリス革命と 2 アメリカ独立 3 フランス革命 4 産業革命 5 まとめ	8	○	○	○	レポート提出 クラス発表
		定期考査				○	○	○

	6	3章 近代化の進展と国民国家の形成	1 近代ヨーロッパの転換点 2 イタリア・ドイツの統一 3 アメリカの拡大	7	○ ○ ○	○ ○ ○		ワークノート (記述の点検)
	7	定期考査			○ ○ ○	○ ○ ○		
	7	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	1 西アジアの変化 2 南・東南アジアの植民地化 3 アヘン戦争 4 黒船来航と日本の開国 5 江戸幕府期の滅亡	8	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		
	8	定期考査			○ ○ ○	○ ○ ○		
2	8	5章 近代化が進む日本と東アジア	1 明治新政府の誕生 2 日本の近代化 3 日清戦争 4 日露戦争  5 日清・日露戦争の影響 6 まとめ	8	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		ワークノート (記述の点検)
	9	定期考査			○ ○ ○	○ ○ ○		
	10	6章 第一次世界大戦と日本の対応	1 バルカン問題 2 第一次世界大戦 3 ロシア革命と大戦の終結 4 まとめ	8	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		DVDの活用
	11	7章 国際協調と大衆社会の広がり	1 ヴェルサイユ体制の成立 2 大衆社会の成立	5	○ ○	○ ○		
		定期考査			○ ○	○ ○		

	12	8章 日本の行方と第二次世界大戦	1 世界恐慌 2 ファイズムの台頭 3 満州事変	7	○ ○ ○	○ ○ ○		ワークノート (記述の点検)
3	1	8章 日本の行方と第二次世界大戦	4 日中戦争の始まり 5 第二次世界大戦 6 第二次世界大戦の終結とその惨禍 7 まとめ	9	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		クラス発表
	2 3	定期考査 9章 再出発する世界と日本	1 戦後の新たな国際秩序 2 冷戦の始まり 3 日本の改革と独立の回復 4 まとめ	5	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○	ワークノート提出 (記述の点検)  レポート提出

計70時間 (50分授業)

#### 4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	近現代の歴史の変化に関わる出来事について、世界と日本との関わりの視点を持って、理解している。	近現代の様々な歴史的な事象を把握して、現在の社会状況に照らし合わせて考察することができる。	よりよい社会の実現に向けて、自己との関わりを踏まえて学習し、自己の成長や自己実現につながるように自主的、主体的に取り組もうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析や ・レポートやワークノート、ノートなどの提出物の内容確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査の分析 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・提出物などの内容確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発表や討議への取り組み姿勢 ・レポートや意見文・感想文などの提出 などから、評価します。

#### 5 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに「ワークノート」の提出があります。
- ・ 各学期の期末考査後、ノートの提出があります。
- ・ 長期の休業中に課題プリントを配布・提出があります。

## 6 担当者からの一言

この「歴史総合」という科目は、近現代の歴史的事象を学習して、今の社会や私たちの課題を多方面にわたって、多角的に考察していきます。今の社会状況につながる世界的な出来事を取り上げますので、是非、興味を持って、意欲的に取り組んでください。